2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	生活環境福祉論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期　水3	教室名	403号室
担当教員	大釜　崇	実務経験とその関連資格	実務経験:身体障害領域・老年期障害領域として病院・施設・地域で作業療法士として住環境整備や福祉用具の選定に携わる。			

《授業科目における学習内容》

生活環境の整備・調整において、作業療法士は大きな社会的役割をもつことは言うまでもない。生活環境の整備・調整には、住宅改修を含む住環境整備、福祉用具の選定・適合だけでなく、既存の生産品と用具をいかに工夫して有効活用していくかといったことも含まれるが、生活環境の整備・調整を作業療法の武器として用いていくには、ICFの活動(特にADL)の理解、福祉用具の理解、福祉用具の選定・適合に必要なアセスメントの理解、アシスティブ・テクノロジーの理解、関連法制度の理解などが求められる。この科目では、それらについて学習していく。

《成績評価の方法と基準》

レポート90%(15点×6回)、平常点(態度・準備)5%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

■テキスト:15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト ADL・実習(中山書店)
■参考書: 福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト［改訂6版］(東京商工会議所)、配布資料

《授業外における学習方法》

基本的には次の通り。
事前学習(20分) 次回学習範囲のテキストの一読。
事後学習(40分) 配布資料・プリント整理と復習。

《履修に当たっての留意点》

レポート提出はWordで作成、印刷し透明ファイルに入れて担当教員に提出すること、(生成AIの使用は認めない)

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①福祉用具(福祉機器、支援機器)、補装具、日常生活用具、自助具について説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 シラバスを読んでおく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 福祉用具について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	②対象となる疾患や高齢者の特徴を説明することができる	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	高齢者の特徴、対象疾患の特徴について		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	③日本の住環境の特徴や社会的背景、在宅生活における課題を説明することができる	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	在宅生活を取り巻く現状と課題について		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	③起居・移乗関連用具、移動関連用具、床ずれ防止関連用具について説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	移動関連用具 床ずれ防止関連用具		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	④排泄関連用具、入浴関連用具について説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	排泄関連用具 更衣関連用具 入浴関連用具		

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	④食事・更衣・整容の関連用具について説明できる。 ⑤社会参加関連用具、コミュニケーション関連用具について説明できる。 ⑥認知症ケア関連用具について説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	食事・整容の関連用具 社会参加関連用具、コミュニケーション関連用具 認知症ケア関連用具		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑥福祉用具の安全な使い方や保守・管理について説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	介護者の身体を守る 福祉用具の安全な使い方 福祉用具の保守・管理		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑦住宅改修、生活環境の整備・調節について説明できる	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	住宅改修 手すり、玄関		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑦住宅改修、生活環境の整備・調節について説明できる	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	住宅改修 廊下、階段、トイレ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑦住宅改修、生活環境の整備・調節について説明できる	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	住宅改修 浴室、台所		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑧車椅子の選定理由を説明でき簡単なメンテナンスが実施できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	車椅子の選定 車いすのメンテナンス		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑨ニーズに合わせて自助具を作成することができる	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	自助具作成計画を立てる		
第13回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑨ニーズに合わせて自助具を作成することができる	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	自助具作成		
第14回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑩福祉用具(福祉機器、支援機器)、補装具、日常生活用具、自助具について使用方法やリスクマネジメントについて説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストを一読しておく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)
		各コマにおける授業予定	自助具作成		
第15回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑪福祉用具(福祉機器、支援機器)、補装具、日常生活用具、自助具について使用方法やリスクマネジメントについて説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 期末試験に向けた総復習。(30分) 事後学習 期末試験に向けた総復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	作成した自助具の発表		